

大淀村二天八王子社神事当番帳

三重県指定

種別：有形文化財（古文書）

指定年月日：昭和 62 年（1987）3 月 27 日

所有者：竹大興杼神社

大淀地区の竹大興杼神社に伝わる当番帳。もともと92 通あった御頭神事の当番記録を1巻にまとめたもので、全長は30 m近くにもなります。

最も古い年号は、江戸時代に書き足されたものですが、応永31年（1424）で、天正8年（1580）までの記録が残されています。

当番帳には、神事にあたって大淀地域の安全が祈願されていたり、当時祭りを取り仕切った地域の有力者の名前が記されています。

御頭神事は、宮川流域に伝わる獅子舞の一つで、獅子頭をご神体として大切に扱うことが特徴です。現在、大淀では夏の祇園祭りが有名で、御頭神事は伝わっていませんが、伊勢市東大淀町には御頭神事が伝わっており、地元の伝承では三世古、東区、東大淀の「五世古」で共同で行われていたともいわれています。



大淀村二天八王子社神事当番帳

【文書の冒頭部分】
大淀村
産土神社 御神事頭番帳
一、来頭 藤原御中臣
天長地久・御願月□□成就、郷中安
全・息災延命如件
応永三十一年甲辰正月二日 敬白
申後藤か



伊勢市東大淀町の御頭神事



竹大興杼神社